

第39回 宮島全国短歌大会を開催いたしました。

去る10月29日(日)、「etto宮島交流館」において『第39回 宮島全国短歌大会』を開催いたしました。

朝から素晴らしい秋晴れが広がる清々しい天気の中、当日は60名を超える方々にご来場いただきました。中には他県から遠路はるばるお越しいただいた参加者の方もおられ、多くの方々にご出席いただき感謝申し上げます。

午前の部では、今大会の講師 沖ななも先生より「歌の生まれるとき」と題してご講演いただき、午後の部では、事前にご投稿いただいた611首の中から「特別賞 16点」「優秀賞 15点」さらに「選外佳作 30点」を沖先生に選んでいただき、きめ細やかな選歌講評を行っていただきました(選外佳作については当日参加者の作品のみ)。

沖先生におかれましては、結社「熾」の代表であり、各地の短歌大会の選者や総合短歌誌への執筆活動、埼玉県歌人協会会長を務めるなど幅広く活躍されており、歌集「衣裳哲学」で現代歌人協会賞を受賞され、「白湯」「日和」等の歌集をはじめ、数々の短歌入門書も出版され大好評であることは皆様ご承知の通りでございます。また今大会では、先生のご厚意により「質問コーナー」を特別に設け、参加者からの様々な質問に答えていただき時折笑い声も飛び交うなど、とても和やかに進行了ました。講評後は入選された出席者への表彰を行い、大会は盛会の内に終了いたしました。

年々、短歌愛好者の平均年齢が上昇する中、かくも多数のご投稿・ご出席を賜りました事、深く御礼申し上げますと共に本大会の開催に絶大なるご支援を賜りました広島・山口の歌人協会をはじめとする各短歌結社と関係諸機関の皆様方に実行委員一同厚く御礼申し上げます。

宮島全国短歌大会実行委員会



当日は多くのお客様にお越しいただきました。



沖先生の講演



表彰式の模様



先生と受賞者の皆様の記念撮影



入選作品を記した色紙31点は11月12日(日)まで
厳島神社西廻廊に展示しております。